

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年03月07日

計画の名称	北長瀬駅周辺における災害に強く賑わいのあるまちづくりの推進												
計画の期間	平成31年度～令和04年度(4年間)							重点配分対象の該当					
交付対象	岡山市												
計画の目標	大目標：総合公園の整備等による災害に強く賑わいのあるまちづくり 目標1：誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進する 目標2：岡山市西部地区の新拠点として賑わいのあるまちづくりを推進する												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,111	A	5,111	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H32末	H34末
1	賑わいのあるまちづくりの拠点として整備する北長瀬未来ふれあい総合公園の利用者数の増加 北長瀬未来ふれあい総合公園の年間利用者数 北長瀬未来ふれあい総合公園をイベントや大会等で利用した人数を把握する	251455人/年	251500人/年	276600人/年
2	災害に強いまちづくりを推進するため災害用トイレを整備し、避難者の快適な避難生活を確保する 避難者のトイレ同時使用率 (マンホールトイレ50穴+汚水固化回収式トイレ250穴+常設トイレ79穴) / 想定避難者数37,400人	0%	0%	1%
3	災害に強く賑わいのあるまちづくりを推進した結果、北長瀬駅周辺地区の人口を維持する 北長瀬駅周辺地区の人口 北長瀬駅周辺地区の人口を住民基本台帳から把握する	9950人	9950人	9950人
4	賑わい創出と周辺地区の人口維持によるJR北長瀬駅の乗降客数の増加 JR北長瀬駅の乗降客数 JR北長瀬駅の乗降客数を把握する	8364人/日	8700人/日	9050人/日

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	岡山市	直接	岡山市	—	—	都市再生整備計画事業 (北長瀬駅周辺地区)	地区面積286ha	岡山市	■	■	■	■		5,111	1.1	—	
													小計						5,111	
											合計							5,111		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	1,378	376	353	8	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	1,378	376	353	8	
前年度からの繰越額 (d)	0	812	372	203	
支払済額 (e)	566	816	522	211	
翌年度繰越額 (f)	812	372	203	0	
うち未契約繰越額 (g)	260	0	70	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	18.86	0	9.65	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	入札不調のため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 北長瀬駅周辺における災害に強く賑わいのあるまちづくりの推進

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との整合性 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との整合性 2) 上位計画等との整合性が確保されている	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い	○

